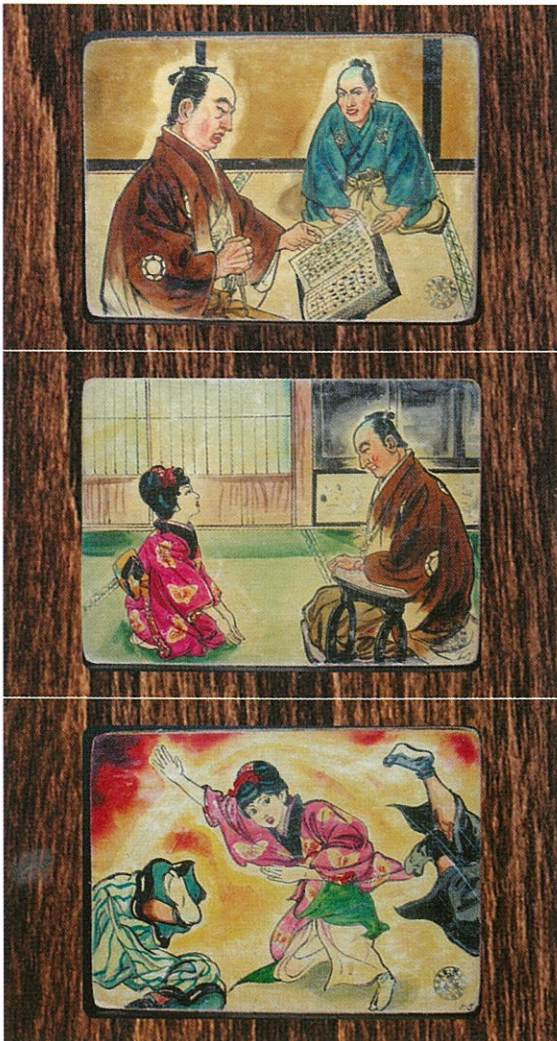


収蔵作品紹介



隼お蝶

オール画劇社



江戸南町 名奉行大岡越前守の前に取次の者が両手をついた。ある日の昼休みのとき
 「御前、牛込神楽坂の目明し辰五郎娘・お蝶なる者が参りました。」
 大岡
 「うむ・・・通せ・・・」

大岡
 「ほう、その方は病気で寝てる父の代わりに十手捕縄を許せと申すのか」
 お蝶
 「はい、その為に久留米藩の十手術洪川流の柔術をいささか習い覚えまして」
 大岡
 「うーむ、なるほど。しかし男でも難しい仕事だ。先ずはその方の手並みが見たい」

お奉行様の命令で捕縄つかんだお蝶がエイッとさばく捕縄は丁度通りかかった同心の首へ・・・
 「グ・・・ッ・・・」
 「う・・・くるしい。無礼者」



怒った同心がお蝶を取り押さえようとしたが反対に
「エイッ！ヤッ！」
ドタン バタン
あっさり投げ飛ばされてしまった。



大岡
「天晴れ 天晴れ！見事だ。江戸名物が一つ増えたぞ。はっは・・・シツカリ頼むぞ」
お蝶
「はい・・・ありがとうございます」
お蝶は十手捕縄を許された！



出目
「親分、上々の首尾だそうですね。へへ・・・ありがたいえな。娘十手の隼お蝶なんて。早速江戸中の評判になりますよ」
お蝶
「出目、おしゃべり止めてサツサト歩きな。お父さんが待ってるよ」



夜道を急いで病気の父が待っている牛込の我が家へ急いだ。丁度淋しい大榎の近くへさしかかったとき・・・



突如「キヤッ！」と女の悲鳴。
出目
「アッ・・・親分。な、なんです」
お蝶
「シツカリしな・・・事件かもしれないね。サア！早くおいで！」
出目
「ヒエ！もうですか」



急いで駆けつけた大榎の側、みると暗い大榎の根元に倒れている娘の姿・・・殺人事件か？
果たして！

クイズ

クイズは、紙芝居の合間などに出され、当たれば水あめなどをもらうことが出来ました。登米市歴史博物館では ピーちゃんクイズが30枚、にこにこクイズが28枚、とんちクイズが20枚あります。そのいくつかを紹介します。



なんででしょう
 答え 右・三重の塔
 左・としい



なんとよむのでしょうか
 答え 右・柱
 左・かまど



この力士の名は
 答え 朝潮



なんででしょう
 答え 風呂



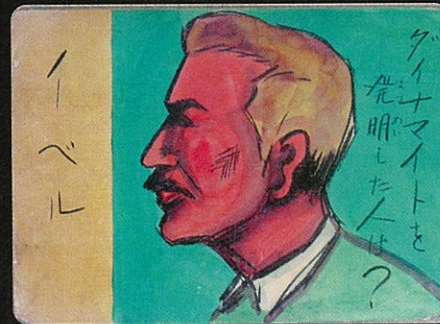
風のない時雨の中を五分走ると、歩くのとではどちらがぬれますか
 答え 走る方



これはある品物をまっ二つに切った絵です。さて、何でしょう。
 答え 茶わん



なんと読むのでしょうか
 答え 右・ツイスト
 左・ぎんなん



ダイナマイトを発明した人は？
 答え ノーベル